



【記者発表資料】
令和5年2月21日
九州地方整備局

「2023 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」の開催

九州地方整備局では、海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、民間企業、大学などと産学官の協働による技術開発を行っているところです。

今般、技術開発の促進に寄与することを目的とし「2023 海域港湾空港技術報告会 in 福岡」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

本報告会では、全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新技術の情報等を産学官でタイムリーに共有し、技術開発の促進に努めます。

記

1. 日 時 令和5年2月28日（火）13：00～17：30
(12：20 開場)
2. 開催方式 会場とWEB（Microsoft Teams）によるハイブリッド方式
会場：TKP 博多新幹線口 5F プレミアムホール（定員160名）
(福岡市博多区博多駅中央街5-14 福さ屋本社ビル)
3. 主 催 九州地方整備局 港湾空港部
九州大学大学院 工学研究院 海域港湾環境防災共同研究部門
4. プログラム 別紙1のとおり
5. その他 取材を希望される方は、別紙2および別紙3をご確認下さい。
報告会の様子を3月7日～31日の間、九州地方整備局港湾空港部のHPで動画配信する予定です。
(URL：<https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kaiikigizyutuhoukokukai/index.html>)

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課

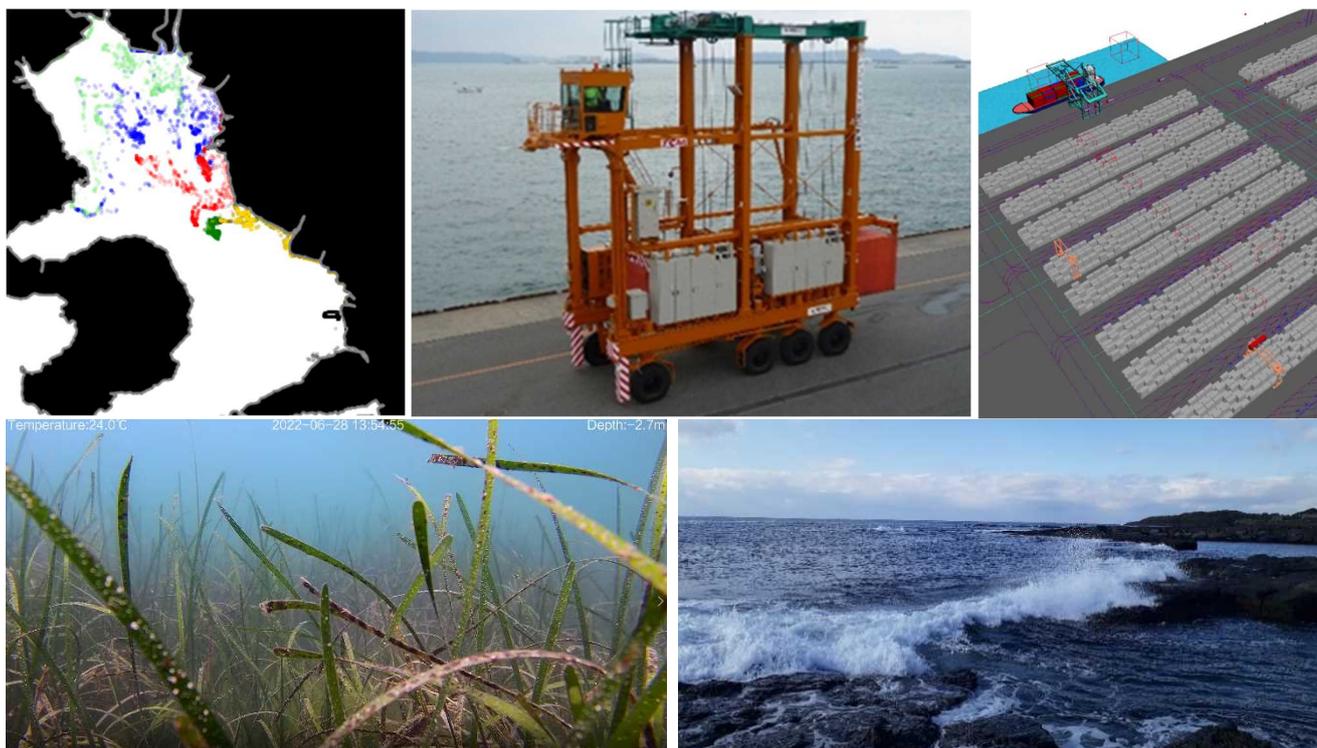
課長 橋本 順二
課長補佐 近藤 利彦

TEL：092-418-3380

2023 海域港湾空港技術報告会 in 福岡

(地盤工学会 CPD プログラム認定)

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産官学の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。本報告会は全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として開催するものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。



日時 2023年2月28日(火) 13:00~17:30

(CPD 交付方法は閉会後にご案内します。)

開催方法 会場とWEB (Microsoft Teams) によるハイブリッド方式

会場：TKP 博多新幹線口 5F プレミアムホール (定員 160 名)

(福岡市博多区博多駅中央街 5-14 福さ屋本社ビル) 受付開始：12 時 20 分～

主催：九州地方整備局港湾空港部、九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

共催：(公社) 地盤工学会九州支部、九州大学学術研究・産学官連携本部、(一財) 沿岸技術研究センター、(一財) 港湾空港総合技術センター、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ、博多港ふ頭株式会社、(一社) 日本埋立浚渫協会、(一社) 港湾技術コンサルタンツ協会、九州港湾空港建設協会連合会

問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課 (担当：橋本、近藤、森山)
TEL 092(418)3380

2023 海域港湾空港技術報告会 in 福岡 プログラム

開会式 13:00 ~ 13:10 <司会> 山口 隼人 (九州地方整備局 港湾空港部 港湾空港企画官)

- ◆ 開会あいさつ 杉中 洋一 (九州地方整備局 副局長)
- ◆ 開催趣旨説明 濱田 秀則 (九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 教授)

第I部 13:10 ~ 13:45 全国の先進的土木技術の紹介

- ◆ AIを用いた栈橋の残存耐力評価技術

令和3年度日本港湾協会論文賞, 令和4年度国土技術開発賞優秀賞 受賞

宇野 州彦 (五洋建設株式会社 技術研究所 土木技術開発部 課長)

~ 質疑応答 ~

第II部 13:45 ~ 14:55 注目度の高いの技術的取り組みの紹介

- ◆ 沿岸域コンクリート構造物のライフサイクルを考える

横田 弘 (北海道大学 名誉教授, 一般財団法人 沿岸技術研究センター 参与)

~ 質疑応答 ~

- ◆ 沿岸波浪の方向スペクトルの観測・解析とその意義

橋本 典明 (九州大学 名誉教授, 一般財団法人 沿岸技術研究センター 参与)

~ 質疑応答 ~

~ 休憩 ~

第III部 15:10 ~ 17:20 産官学の技術展望

<司会> 杉村 佳寿 (九州大学大学院 工学研究院 海域港湾環境防災共同研究部門 教授)

- ◆ DXコンテナターミナルの展望について

篠田 岳思 (九州大学大学院 工学研究院 海洋システム工学部門 教授)

- ◆ エコ・コンテナターミナル実現を目指した荷役機器の技術開発実験~博多港コンテナターミナルの取組み~

後藤 篤 (博多港ふ頭株式会社 常務取締役)

- ◆ 流木漂流予測シミュレーションモデルの開発に向けた取り組み

井手 喜彦 (九州大学大学院 工学研究院 附属アジア防災研究センター 沿岸海洋工学研究室 助教)

- ◆ 点検における水中ドローンの活用事例と活用を広めるための課題 一般社団法人港湾技術コンサルツ協会 推薦

森本 睦 (株式会社ニュージェック 港湾海岸グループ チームマネージャー)

~ 質疑応答 ~

~ 休憩 ~ (以下, 16:25より再開)

- ◆ 港湾構造物におけるi-Constructionの展開 九州大学大学院 工学研究院 濱田 秀則 教授 との共同研究

坂井 義彰 (株式会社ヤマウ 技術本部 開発部 開発グループ)

- ◆ 重力式岸壁の増深改良技術について

松尾 康成 (九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所 技術開発課 課長)

- ◆ 杭の短縮化を実現するテーパ杭技術の紹介 一般社団法人日本埋立浚渫協会 推薦

新谷 聡 (りんかい日産建設株式会社 土木本部 技術部 技術課長)

~ 質疑応答 ~

閉会式 17:20 ~ 17:25

- ◆ 閉会あいさつ 江頭 和彦 (NPO 法人研究機構ジオセーフ 監事)

取 材 要 領

1. 事前申し込みについて

当日取材を希望される方は、九州地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課まで、メールにて事前申込みをお願いします。 事前申込みが無い場合は、取材ができませんのでご注意ください。

(1) 申込期日は、厳守をお願いします。(2月27日(月) 12:00必着)

- ・申込先(技術報告会専用アドレス) hokokukai-f89in●mlit.go.jp
(●を@にして送信)

※申込期日に間に合わない場合は、取材ができない場合があります。

(2) 別紙様式に以下の事項を記載して下さい。

- ・所属クラブ名
- ・会社名及び部署名
- ・取材者の役職・氏名(取材者全員の役職・氏名を記載願います。)

2. 当日の受付及び留意事項について

- ・受付場所: TKP ガーデンシティ博多新幹線口 5F プレミアムホール 前
福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14(福さ屋本社ビル 5F)
- ・受付時間: 12:20~13:00

<留意事項>

- ・取材中は、身分証明書、自社腕章を必ず着用願います。
- ・会場内では、「報道関係者席」にご着席頂くとともに、撮影は「報道関係者席」からお願いします。
- ・会場の都合により、会場内で電源をとることはできません。パソコン等を使用される場合は、バッテリー等をご持参願います。
- ・質疑については、担当者が現地にて対応いたします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため以下を遵守してください。
※5F 会場入口にて、手指の消毒、検温を行っておりますので、ご協力ください。
※当日、体調が優れない方、また、検温結果が37.5度以上の方は入室を遠慮いただきます。
- ・その他、取材にあたっては、担当者の指示に従って下さい。